


【実施計画】

番 号	3-1-2
-----	-------

改革の視点	3 人 間		基本的な方向	1 地域主権時代を担える人材の育成	
実施計画項目	2 チャレンジャー公募制度の充実			改善の視点	ルール(規範・条例・運営基準を見直す)
内 容	特定の新たな業務や課題に対処する際には、挑戦意識を触発し、やる気・元気のある新たな人材を発掘するために、全職域から職員を公募して適任者を選考する。			主 体 課	人事課
				担当課所	全課所
達成目標			評価の手法		
【チャレンジャー公募制度の充実】 定期人事異動時だけでなく、プロジェクトチーム設置時などの新たな業務や課題に対処する際の職員選考方法等を検討し、実施を図る。			【対象者へのヒアリング調査】 職員のやる気を喚起できたかどうか、対象職員への聞き取り調査を担当課により実施し、その結果を検証する。		
年 度	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)
実施スケジュール					
評価の時期	○	○	○	○	○
目標の内容	人事異動時だけでなく、特命の室設置時など、職員の選考方法等を検討し、実施を図る。	人事異動・各機関への派遣及び被災地支援等各事業実施において、職員の選考方法等を検討し、実施を図る。	人事異動・各機関への派遣及び各事業実施において、公募職員から選考することにより、やる気の喚起を図る。	人事異動・各機関への派遣及び各事業実施において、公募を実施し、ヒアリング等をもとに選考することにより、やる気の喚起を図る。	計画期間において各機関等に派遣された職員に対して聞き取り調査を実施する。その結果を踏まえて必要な見直しを行い、制度を確立する。
平成22年度までの主な推進状況	平成16年度の定期人事異動時に4室の公募から始め、以後愛媛県後期高齢者医療広域連合への派遣職員の公募を行い職員の資質向上を図っている。平成22年度には派遣研修に予定されている自治大学派遣の募集を行うとともに、平成22年度の定期人事異動に際して、派遣職員の公募を実施した。				

【取組結果】

年 度	担当課所	取組内容、見直し効果等の説明	進捗率 (金額等)
平成23年度 進捗状況	主体課 (とりまとめ課)	平成24年度には派遣研修に予定されている自治大学派遣の募集を行うとともに、平成23年度の定期人事異動に際して、四国経済産業局との人事交流、県との相互交流として派遣する職員の公募を実施した。 また、東日本大震災に伴う被災地支援に関して、派遣職員の公募を実施した。	
	担当課所		
平成24年度 進捗状況	主体課 (とりまとめ課)	平成25年度の定期人事異動に際して、四国経済産業局との人事交流、愛媛県との相互交流(東京事務所含む)として派遣する職員の公募を実施した。 平成25年度自治大学派遣の募集を行うとともに、東日本大震災の継続的な被災地支援として、気仙沼市への土木技術職員派遣職員の公募を実施した。	
	担当課所		
平成25年度 進捗状況	主体課 (とりまとめ課)	平成26年度の定期人事異動に際して、文部科学省・愛媛県後期高齢者医療広域連合に派遣する職員の公募を実施した。 また、平成26年度自治大学派遣の募集を行うとともに、東日本大震災の継続的な被災地支援として、気仙沼市への土木技術職員派遣職員の公募を実施した。	
	担当課所		
平成26年度 進捗状況	主体課 (とりまとめ課)	平成27年度の定期人事異動に際して、国土交通省・経済産業省・愛媛県・えひめ地域政策研究センター・愛媛地方税滞納整理機構に派遣する職員の公募を実施した。 また、平成27年度自治大学派遣の募集を行うとともに、東日本大震災の継続的な被災地支援として、気仙沼市への土木技術職員派遣職員の公募を実施した。	
	担当課所		
平成27年度 進捗状況	主体課 (とりまとめ課)	平成28年度の定期人事異動に際して、経済産業省に派遣する職員の公募を実施した。 また、平成28年度自治大学派遣の募集を行うとともに、東日本大震災の継続的な被災地支援として、気仙沼市への派遣職員の公募を実施した。	
	担当課所		